

被災者支援のため県交渉

日本共産党能登地区委員会、議員団



7月24日、日本共産党の能登地区委員会、議員団と佐藤まさゆき県議、被災者共同支援センターは、石川県当局(担当部署)に対し、被災者支援のための要望書を手渡し、県交渉を行いました。

被災から半年以上経過してなお被災者のおかれている深刻な状況を県に伝え、県としての対策をたどしました(詳細は、次号に)。



奥能登への重要幹線道路「のと里山海道」両面開通とのことだが未だにこの状態

7月17日、奥能登への幹線道路であり、復興の重要な道である自動車専用道の「のと里山海道」が、ようやく全線両面開通しました。これで、被災者共同支援センターがある羽咋市から奥能登の輪島市、珠洲市への移動時間がだいぶ短縮されます。



ンターがある羽咋市から奥能登の輪島市、珠洲市への移動時間がだいぶ短縮されます。

ところが両面開通したといっても一部交互通行部分を残したままですし、被災した車は道路わきのがけ下に落ちたまま、依然として撤去されずに放置されたままです。

谷側に崩壊した道路部分の整備は、迂回路のままです。本格的な復旧はいつまでかかるのか。

さらに、被災から半年以上の今になって、新たな小規模な道路の陥没が発見されたり、地盤沈下で新たに海水につかる県道などが、何力所も発見されています。さらなる道路の全面点検が必要です。

全国から 生活支援物資をお寄せください ボランティア活動にぜひお越しください